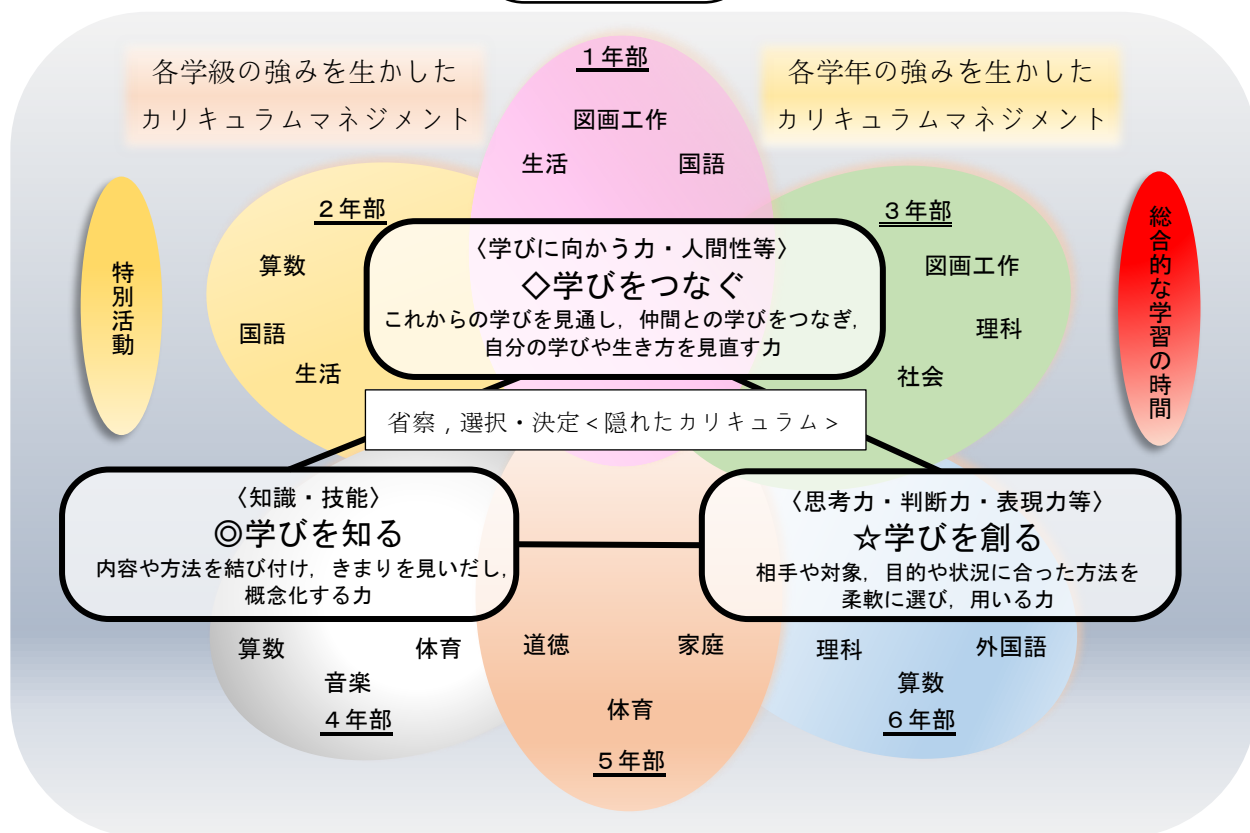




## 令和4年度学校経営の方針

学校教育目標

# 自律



### ◆学校経営の基本方針

教職員は、全ての教育活動における指導や支援が学校教育目標や目指す子ども像の実現につながるものとなるよう、隠れたカリキュラムに至るまで省察、選択・決定を繰り返す、不断の改善に努める。

今年度は、その重点を各学級・学年における教職員の専門性、経験値などの強みを生かしたカリキュラムマネジメントの充実を図る。そのために各学級・学年は、「本校で育てたい資質・能力（学びをつなぐ力・学びを知る力・学びを創る力）」の育成を共通実践する。

これらの取組を通して、本校の特色である研究の推進と優れた実践的指導力を有する教員の養成及び資質向上に結び付ける。

### ◆目指す子ども像

のびのび きびきび わくわく

- ・思いやりの心を持ち、互いのよさを認め合って高まろうとする子ども
- ・自分で判断して、正しい行動をつらぬく子ども
- ・心身ともに健康で、生き生きと活動する子ども
- ・学ぶ楽しさを見だし、よりよいものを求めて工夫する子ども
- ・自分の可能性を信じ、挑戦する子ども

◆目指す学校像／目指す教師像

子どもの姿で教育を語る学校／子どもとともに明日を語る教師

- ・子どもの心に寄り添い、心に響く教育を目指す学校
- ・かかわり合いを大事にして豊かな学びをはぐくむ学校
- ・秋田大学教育文化学部の附属学校としての使命を果たす学校

◇研究主題

自律した学習者を育てるⅡ ～子どもと教師でつくる「学びのものさし」～

◆経営の重点と具体的施策

**「豊かな心」をはぐくむ教育の創造**

- 子ども一人一人の居場所のある学級経営
- 絆づくりを目指す児童会活動と異年齢集団活動
- 自己を深く見つめ生き方を捉え直す道徳教育
- 全教育活動における豊かな情操と品性の涵養
- 多様性を認め合う共生社会の基盤をつくる四校園連携教育

**自己指導力の育成を目指す生徒指導，心と体の調和を図る健康・安全教育の充実**

- 複数担任制を生かすなど複数の目による子ども理解
- いじめ防止基本方針や特別支援教育の視点を踏まえた問題行動等への適切な対応
- 運動の楽しさや喜びを運動習慣の確立につなげる体育の授業づくり
- 自助・共助・公助の実現に向けて各教科等と関連を図った安全・防災学習

**確かな学力の定着を図る学習指導の充実**

- 「問題解決のための資質・能力系統表」に基づく明確な指導のねらい
- ICT活用も含めた協同的な学びの導入
- 学ぶ速さや進め方など自己調整力の伸長に資する学習過程
- 学んだ手応えが実感できる「学びのものさし」
- 国際社会に通用する資質・能力の育成を図る英語教育・プログラミング教育等
- 各学年所属の教科担当教員及び専科教員を生かした教科担任制
- 大学教員による特別授業や研究施設の利用

**家庭・地域とともに育つ連携・協働の推進**

- 秋田と自分のよさや可能性に対する自信や誇りを新たにするふるさと・キャリア教育
- 子どもの目線とともに育つPTA活動・ボランティア活動
- 学校の取組を積極的に発信する学校報・ホームページづくり

◆附属小学校の特長

環境の整った保戸野キャンパスで、全人的な教育を目指します。

子どもの心に寄り添い、心に響く教育を目指す学校

- ・健康で安全な学校生活の充実に努めます。
- ・共感的な人間関係を基盤とした心のかよう積極的な生徒指導に努めます。
- ・協働の考えのもと、家庭や地域との連携を密にして、子どもたちを共に育てる取組の充実を目指します。

かかわり合いを大事にして豊かな学びをはぐくむ学校

- ・学んだ手応えが実感できるよう、かかわり合う場を工夫し豊かな言語環境を構築します。
- ・全教科等の専門性を有する教員がバランスよく配置された強みを生かし、学習指導の充実に努めます。
- ・確かな知識や技能を基盤として思考・判断・表現する力、問い続ける続ける力などの資質・能力を高める授業づくりに努めます。

秋田大学教育文化学部の附属学校としての使命を果たす学校

- ・大学の学部・研究科（教職大学院）と連携し、教員養成等に係るプログラムの開発に取り組みます。
- ・大学の学部・研究科（教職大学院）と協力して、学生の教育実習や院生のインターンシップなどの充実を目指し、その指導に当たります。
- ・大学の研究科（教職大学院）と連携し、本校における実習の充実を目指します。
- ・日々の実践研究に努め、公開研究協議会等を実施するなどして、成果を広く発信します。

大学教員や附属学校園との連携を図る学校

- ・大学教員と研究テーマを共有して共同研究の体制を整え、人的・物的資源の活用を図ります。
- ・様々な教育活動の向上に資するよう、共同研究の成果を広く地域に発信します。
- ・附属学校園（幼稚園・小学校・中学校・特別支援学校）が積極的に交流し、情報交換や組織的な連携に努め、一貫した教育の充実に努めます。